



琵琶湖森林づくり宣言書

【趣旨】

琵琶湖は、近畿1450万人の貴重な水源であり、この琵琶湖の水を、滋賀県の森林が生み出しています。

しかし近年、様々な社会経済情勢やライフスタイルの変化によって、所有者や境界が不明な森林が増加し、手入れの行き届かない森林がみられるようになりました。

滋賀県では、令和元年度から「やまの健康」推進プロジェクトを立ち上げ、「森林・林業・農山村」(＝「やま」)を一体的に捉えて、琵琶湖を取り巻く森林や農地が適切に管理される中で、改めて見直される農山村の価値や魅力、地域資源を生かしたモノやサービスを上手く使って、地域の経済循環や人々との関わりの創出に取り組んでいます。

このたび、滋賀県の「やま」に関心をもっていただいているより多くの方に、「やま」との関わりを通じた気づきを得ていただくとともに、多様な企業の交流によって始まる新たなつながりを契機として、みなさんとの協働による森林づくりを一層推進するため、「琵琶湖企業の森コンソーシアム」を発足します。

どんな形でも森林、「やま」に関わることで、森・川・里・湖・海をめぐる循環の一助となります。

ぜひ、「琵琶湖企業の森コンソーシアム」の取組にご賛同をお願いします。

☐ 私は、琵琶湖企業の森コンソーシアムの取組に賛同し、行動することを宣言します。(参加の意思を表すものとしてチェックしてください。)

令和 年 月 日

宣言者